

町長就任一年間の取り組みは

町政発展のため精力的に取り組む



矢野 依伸 議員

援実施、そして、農林水産業を始めとする様々な課題に対して精力的に取り組んでいるところである。

問 国・県への政策提言や支援要請はどのようなことを行っているか。

答 松本町長

問 町長に就任し10月で1年になるが、これまでの活動・取り組みはどうか。

答 松本町長

本町の最上位計画である黒潮町総合戦略を踏襲し、2060年度人口68000人の達成に向けて取り組んでいる。

昨年来の課題である新型コロナウイルスの感染防止やワクチン接種の実施、また、町独自感染症対策事業として、90事業約5億8900万円の支

るので積極的に政策提言をしていく。

問 議会でも主要事業の取り組み経過や課題の説明・報告は住民への周知に繋がると考えるがどうか。

答 松本町長

町の主要事業や課題への取り組みを住民の方へ伝えていくことは重要なことで、町内ケーブルテレビでの実況、録画放送される議会の場ではないかと思っているので丁寧な説明や報告に努めていきたい。また、毎月発行の町広報誌や公式ホームページも活用していき

地球温暖化防止

脱炭素社会実現の取り組みは
脱炭素化を地域経済の成長に

問 今年6月の「黒潮町ゼロカーボンシティ宣言」の主旨・目的は。

答 宮川住民課長

国際的重要課題である気象変動は、集中豪雨や台風の巨大化など地球規模での温暖化が原因と言われ、近年は自然災害が頻発・激甚化し、生命や暮らしが脅かされている。これを踏まえ、2050

年までに二酸化炭素（CO₂）の実質排出量ゼロを目指すものである。本町の自然の恵みあふれる豊かな町を次の世代にしっかりと引き継いでいくために「脱炭素化」の取り組みを進めていくとするものである。

問 町のこれまでの地球温暖化防止対策は、また、この宣言に基づき今後どのように取り組むのか。

答 宮川住民課長

地球温暖化防止のこれまでの取り組みは、ごみの減量やリサイクル化などの取り組み、また、第3次黒潮町温暖化対策実行計画（事務事業編）による全公共施設への環境に配慮したLED照明などの整備、また、リサイクル可能な製品の購入などに取り組んできた。

答 松本町長

県は二酸化炭素を減らすことによって経済成長が高まっていくという施策に転換している。国・県の動向などを注視しながら町として様々な施策を考えていきたい。

【その他の質問】
・豪雨対策について



再生可能エネルギーの一つ 太陽光発電施設
(こうち・くろしお太陽光発電 (株))